

# (一社)大津市薬剤師会における 夜間・休日お薬相談窓口活動 について

**(2005年度 ~ 2013年度)**



(一社)大津市薬剤師会  
忝田敬弘、隠岐英之、渡辺 茂

## 方法

お薬電話相談は、平日は21時から翌日9時まで、日曜・祝日は24時間受け付けており、会員薬剤師が当番制で担当している。

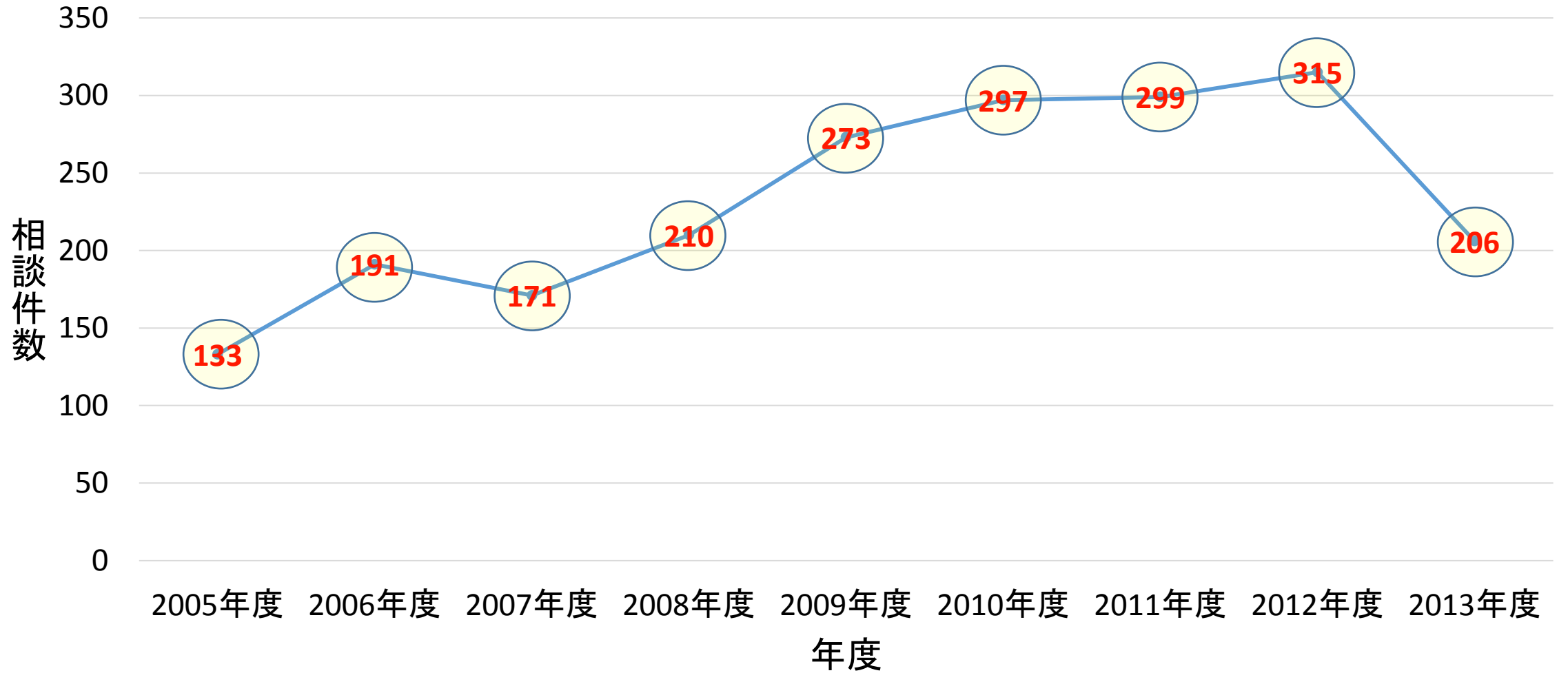
事業開始から2013年度までの相談者の性別、年齢、月別相談件数、時間帯別相談件数および、相談内容について調べた。

## 結果

### 夜間休日お薬相談件数推移

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
相談件数	133	191	171	210	273	297	299	315	206

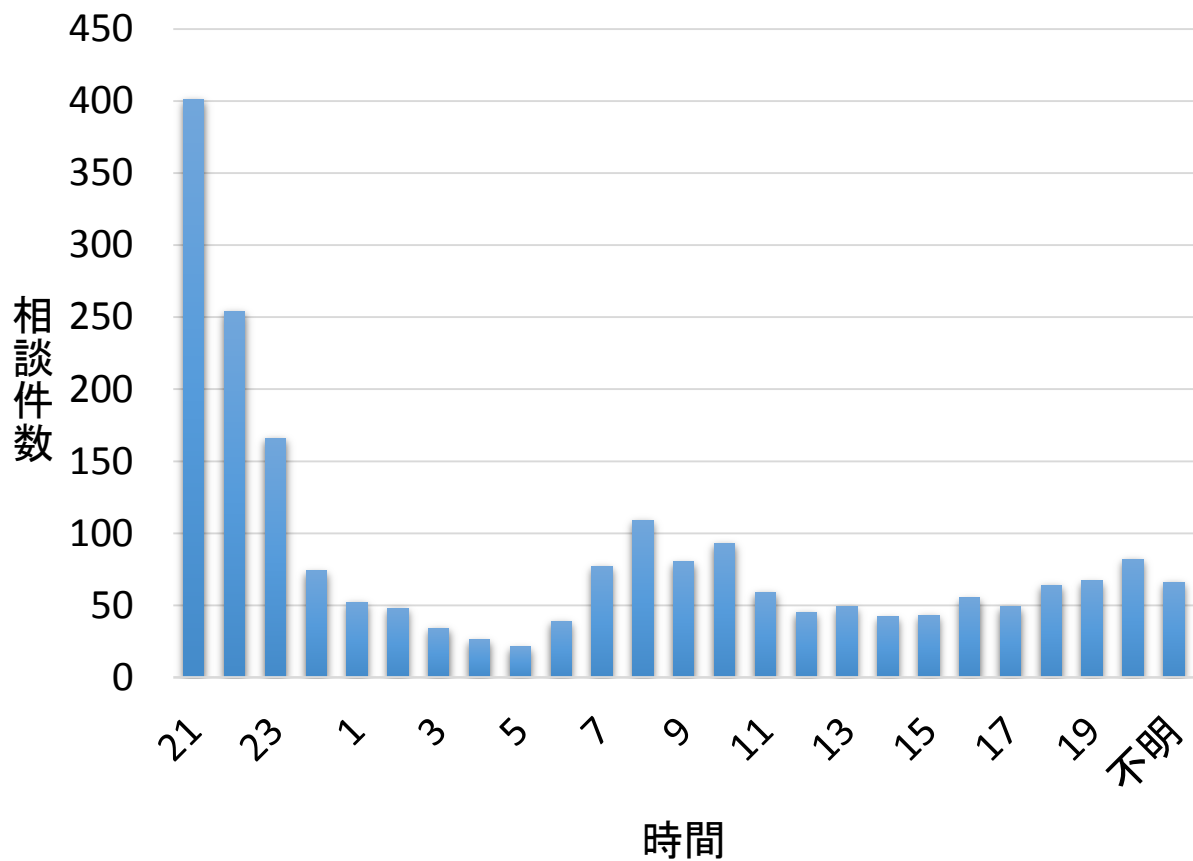
# 夜間休日お薬相談件数推移



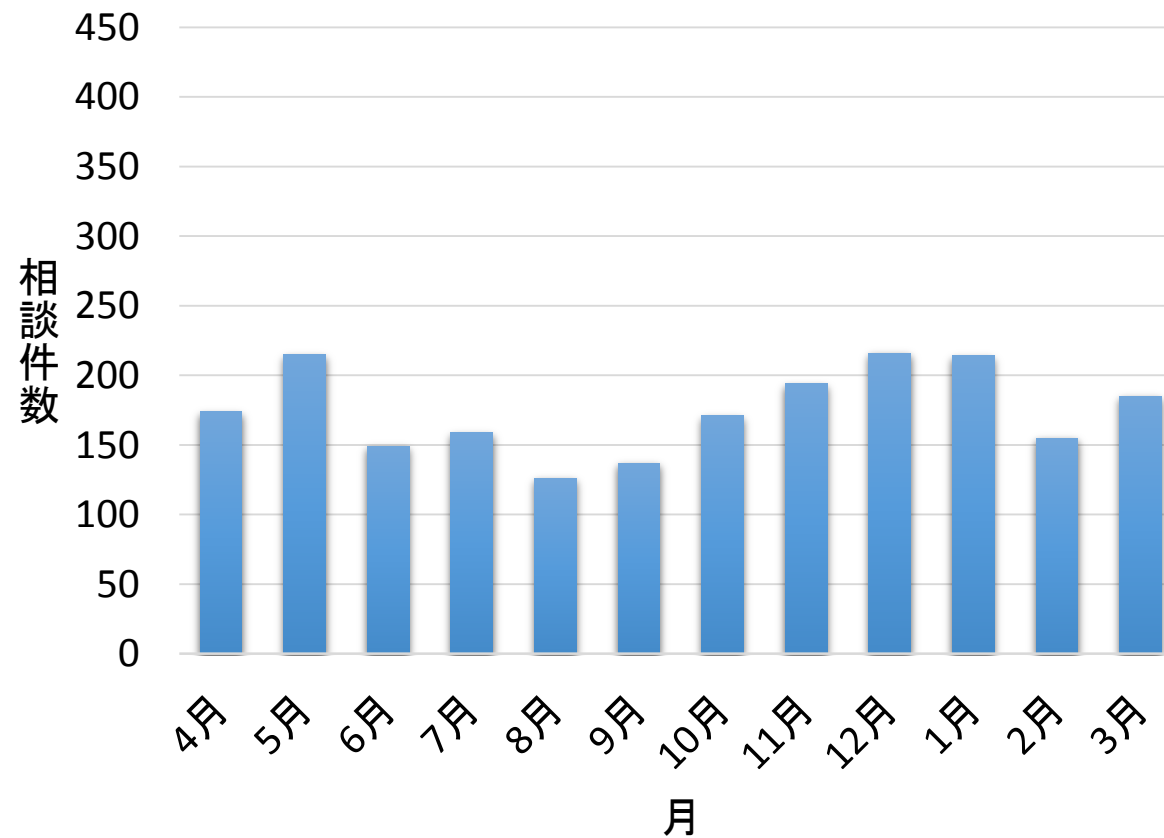
# 2005年度～2013年度 夜間休日お薬相談総計

総相談件数  
2095

## 時間帯別相談件数



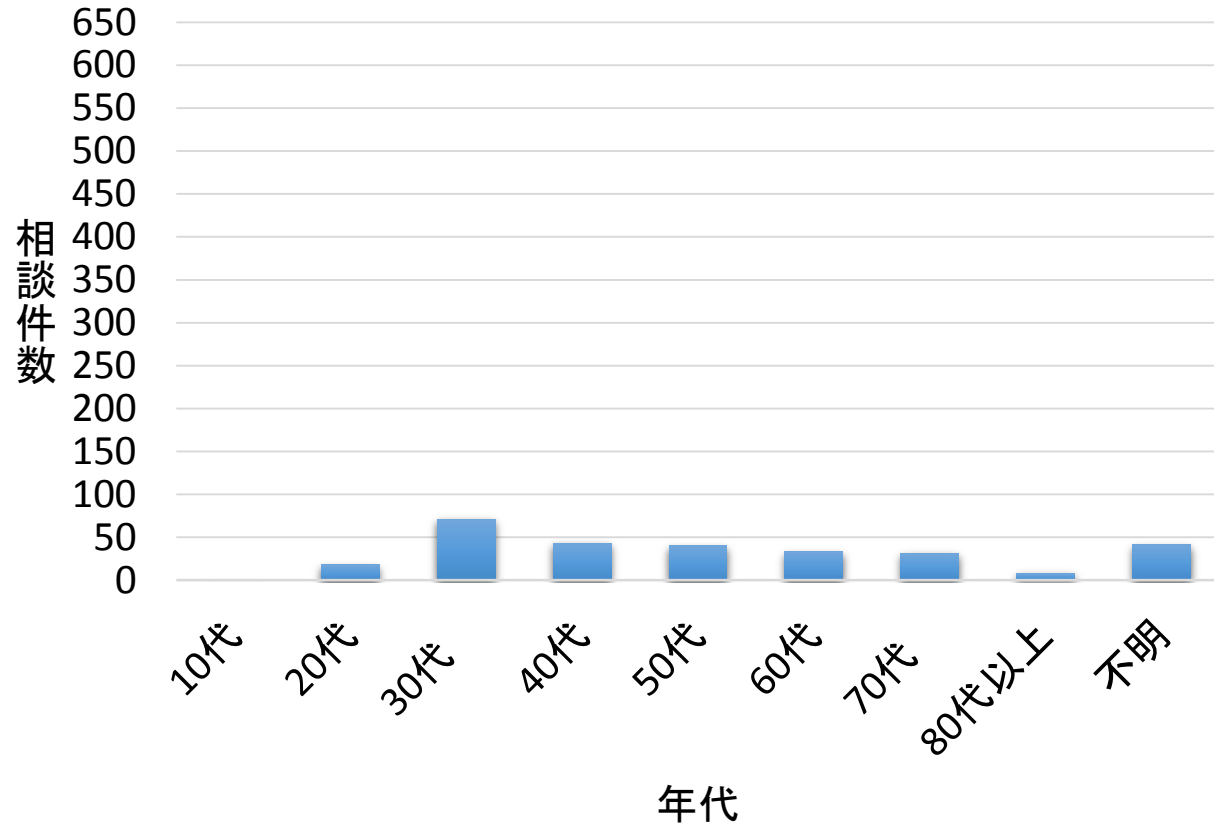
## 月別相談件数



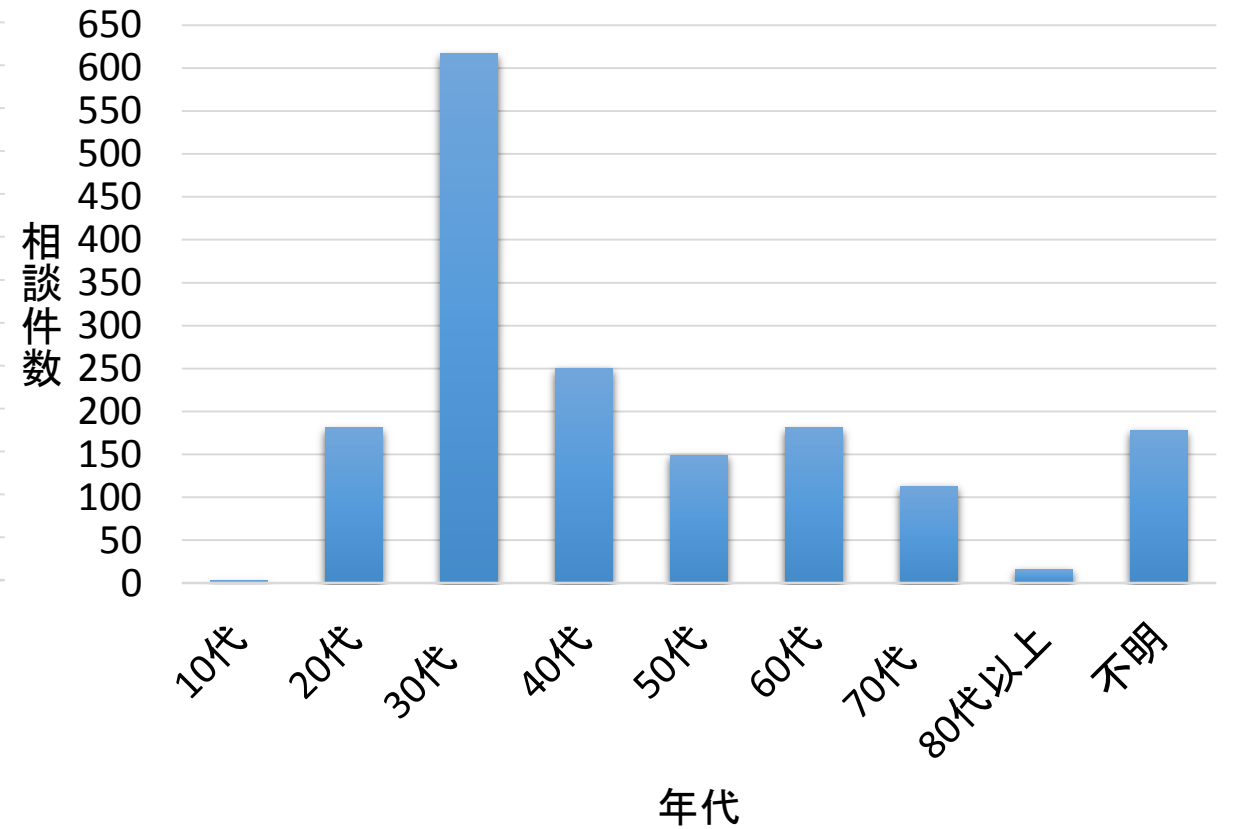
# 2005年度～2013年度 夜間休日お薬相談総計

総相談件数  
2095

## 男性 年齢別相談件数

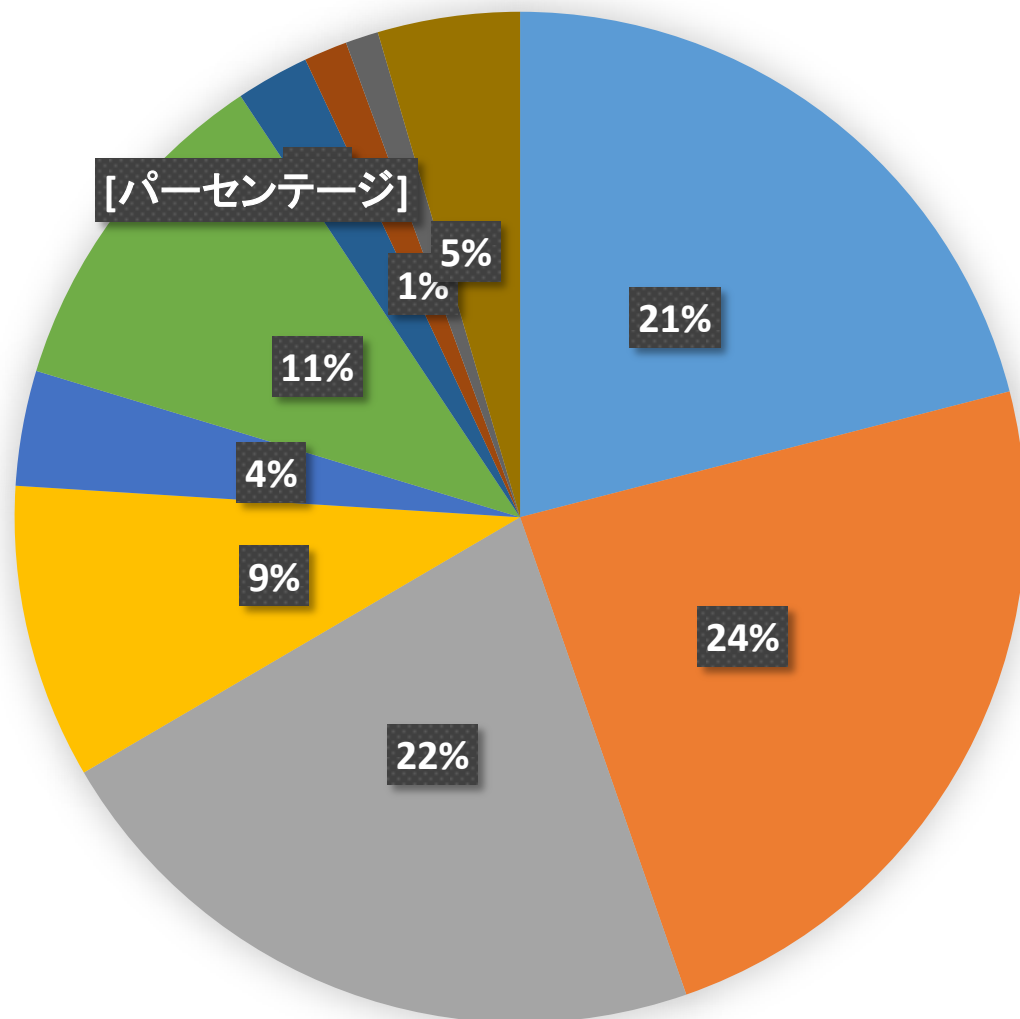


## 女性 年齢別相談件数



# 2005年度～2013年度 夜間休日お薬相談総計

## 相談内容

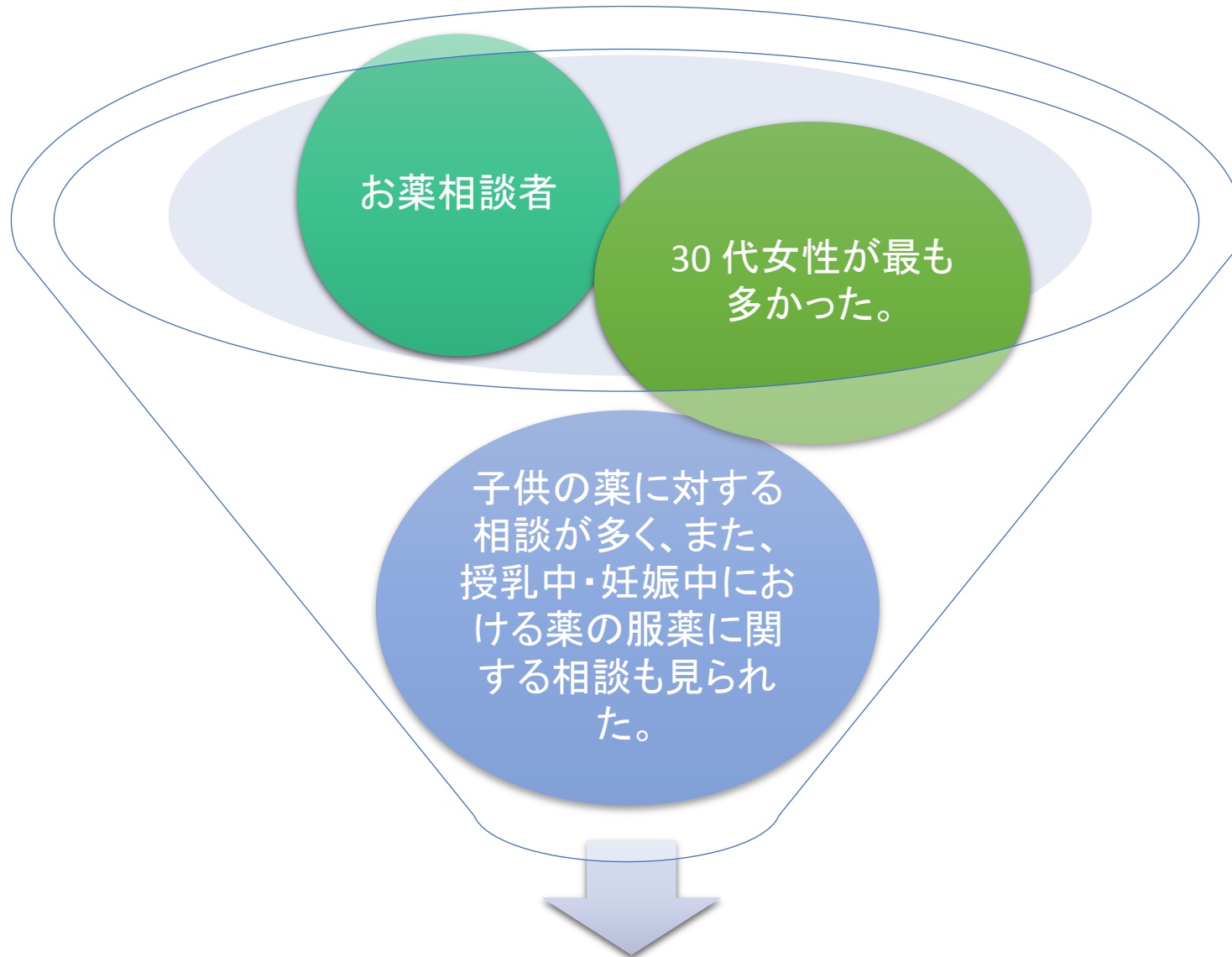


- 薬の併用について
- 服用中・使用中の薬について
- 家にある薬の使用について
- 副作用について
- 薬の誤飲
- 受診勧告または受診相談
- 妊娠・授乳中の薬の服用について
- OTCについての質問
- 開局している薬局はあるか
- その他

## 結果

- ★ 各年度の総相談件数は、お薬相談事業開始時に比べ、倍以上に増加。
- ★ お薬相談は各年度を通じて、21時から23時の間に多かった。
- ★ 大型連休や、お盆、正月など、医療機関が閉まっているときほど相談が多かった。
- ★ お薬相談された方の性別は、女性が圧倒的に多く、特に30代が多かった。
- ★ お薬相談の内容は、「薬の併用について」、「服用中・使用中の薬について」、「家にある薬の使用について」※という、3項目が各年度を通じて多かった。

※「薬の併用について」: 今服用している薬に、新たに追加された薬と一緒に服用してよいかなど。  
「服用中・使用中の薬について」: 今服用している薬の効能について教えてほしい、薬の量は正しいかなど。  
「家にある薬の使用について」: 家にある薬を使いたいが、使ってもよいかなど。



お薬相談事業は、育児中の薬の悩みの解消の手助けとなっており、  
育児支援にもつながっているのではないかとと思われる。



## まとめ

お薬相談内容は、服用中の薬についての相談や、家にある薬の使用可否および服用中の薬の副作用といった相談が大半を占め、いろいろな書物や、インターネットで薬の情報が見られる時代だが、薬の専門家である薬剤師が必要とされていることを強く感じた。

医療用医薬品、一般用医薬品を問わず、薬や健康に関する相談は後を絶たない。

市民に、より健康で安心、安全な生活を送ってもらうため、いつでも薬剤師に相談できる環境の整備が重要である。